

15:08受

1/1

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第19930報)

2019年7月22日15時00分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>本日10時25分頃、作業員が作業終了後、車両にて入退域管理棟近傍の構内駐車場に戻った際、車内に警報付ポケット線量計(APD)と蛍光ガラス線量計を置き忘れた。その後、入退域管理棟にて退域手続きを行った際、そのことに気づいたとの連絡が11時38分に緊急時対策本部に入りました。</p> <p>なお、この作業員は構内専用服を着用して作業をしており、作業実施中は、警報付ポケット線量計(APD)と蛍光ガラス線量計を携帯していたことを確認しております。</p> <p>今後、個人線量計未装着期間における線量評価を実施いたします。</p> <p>【公表区分：E】</p>
その他の事項の対応(注3)	※添付の有・ <input checked="" type="radio"/> 無

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

16:12 受

1/6

様式9-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第19931報)

2019年7月22日16時00分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき, 応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [7月22日11時00分現在] ・集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果 [採取日 7月21日] ・福島第一原子力発電所構内排水路分析結果 [採取日 7月21日] ・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 海水 [採取日 7月21日] <p>・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。</p> <p>・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。</p> <p>・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。</p> <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクJの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、7月23日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水の分析結果 [採取日 7月18日] <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の有・無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

- (注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。
- (注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。
- (注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

2/6

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2019年7月22日 11:00現在

【重要事項】
各計測値については、異常やその他の異常状態の影響を受けて、通常の使用範囲外条件を
超えているものもあり、正しく測定されていない可能性のある計測値も存在している。
プラントの運転を促進するために、このような計測の不確かさを考慮したうえで、後述
の計測値から得られる情報を使用して運転の傾向にも着目して総合的に判断している。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 1.5 m ³ /h CS系: 1.4 m ³ /h (7/22 11:00 現在)	給水系: 1.4 m ³ /h CS系: 1.5 m ³ /h (7/22 11:00 現在)	給水系: 1.5 m ³ /h CS系: 1.5 m ³ /h (7/22 11:00 現在)	
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 23.7 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 23.6 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 23.5 °C (7/22 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 28.9 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 30.1 °C (7/22 11:00 現在)	スカーション上部温度 (TE-2-3-69F1): 27.0 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 26.0 °C (7/22 11:00 現在)	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 23.8 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 23.6 °C (7/22 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 29.8 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1): 29.2 °C (7/22 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A): 27.3 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 25.6 °C (7/22 11:00 現在)	
原子炉格納容器 圧力	0.40 kPa g (7/22 11:00 現在)	3.04 kPa g (7/22 11:00 現在)	0.40 kPa g (7/22 11:00 現在)	
窒素封入流量 ※3	RPV (RVH): - Nm ³ /h ※6 (JP-A): 27.99 Nm ³ /h ※6 (JP-B): - Nm ³ /h ※4 PCV: - Nm ³ /h ※4 (7/22 11:00 現在)	RPV: 8.21 Nm ³ /h ※4 PCV: - Nm ³ /h (7/22 11:00 現在)	RPV: 16.94 Nm ³ /h ※4 PCV: - Nm ³ /h (7/22 11:00 現在)	
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	20.9 m ³ /h (7/22 11:00 現在)	14.97 Nm ³ /h (7/22 11:00 現在)	17.98 Nm ³ /h (7/22 11:00 現在)	
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: - vol% ※7 (7/22 11:00 現在)	A系: 0.08 vol% B系: 0.08 vol% (7/22 11:00 現在)	A系: 0.06 vol% B系: 0.06 vol% (7/22 11:00 現在)	
原子炉格納容器 放射線濃度 (Xe135) ※2	A系: 指示値 8.10E-04 Ba/cm ³ 検出限界値 3.90E-04 B系: 指示値 1.23E-03 Ba/cm ³ 検出限界値 3.40E-04 (7/22 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.5E-01 Ba/cm ³ B系: 指示値 ND 検出限界値 1.4E-01 Ba/cm ³ (7/22 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 2.2E-01 Ba/cm ³ B系: 指示値 ND 検出限界値 2.2E-01 Ba/cm ³ (7/22 11:00 現在)	
使用済燃料プール 水温度	299 °C (7/22 11:00 現在)	30.3 °C (7/22 11:00 現在)	29.6 °C (7/22 11:00 現在)	※5 (7/22 11:00 現在)
FPC 貯水タンク 水位	3.33 m (7/22 11:00 現在)	3.61 m (7/22 11:00 現在)	2.56 m (7/22 11:00 現在)	67.1 X100mm (7/22 11:00 現在)

【計測値に関する情報】
 ※1: 指示値が0.00vol%と記載する。(水素濃度が極めて低い場合は、計測精度によりマイナス表示される場合があるため)
 ※2: 指示値が検出限界値未満の場合HNDと記載する。原子炉格納容器ガス管理システムの放射線濃度値 (Xe135) を記載する。
 ※3: 使用状態の温度・圧力で調整精度正しさを記載する。
 ※4: 異常検出停止中
 ※5: 4号機使用済燃料プール冷却系一次系ポンプ停止中
 ※6: 異常検出異常 (PTW)
 ※7: 作業に伴いデータ欠測

3/6

2019年7月22日

集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果

I-131 (Bq/L)

Table with 17 columns (7/7 to 7/23) and 10 rows (測定期間 ① to ⑩) showing I-131 concentration data.

CS-134 (Bq/L)

Table with 17 columns (7/7 to 7/23) and 10 rows (測定期間 ① to ⑩) showing CS-134 concentration data.

CS-137 (Bq/L)

Table with 17 columns (7/7 to 7/23) and 10 rows (測定期間 ① to ⑩) showing CS-137 concentration data.

- <測定箇所>
①4号T/B建屋南東
②プロセス主建屋北東
③プロセス主建屋南東
④プロセス主建屋南西
⑤建屋主体廃棄物処理建屋南
⑥サイトバンカ建屋南西
⑦焼却工作建屋 西側
⑧建屋主体廃棄物処理建屋北
⑨サイトバンカ建屋南東

※「-」はサンプリング測定を実施していないことを示す。
※①は②が採取できなかったため、地下水流の上流側として測定し、選1回程度の頻度で測定(2011/4/29~)
※②は地下水流の下流側であることから、追加で測定(2011/5/26~)
※③を追加で測定(2011/5/30~)
※④を追加で測定(2011/8/2~)
※⑩は検出限界値未満を示す。() 内に検出限界値を示す。

2019年7月22日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所構内排水路分析結果

単位: Bq/L

	A排水路			物揚場排水路		
	7月19日	7月20日	7月21日	7月19日	7月20日	7月21日
採取日	7:30	7:30	7:25	7:35	7:35	7:30
採取時刻	3.5	13	4	3.5	13	4
降雨量(mm/日)	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中
流量(m ³ /秒)	ND(0.91)	ND(0.75)	ND(0.61)	ND(0.72)	0.52	0.70
Cs-134(約2年)	4.8	7.4	6.2	4.5	4.6	6.4
Cs-137(約30年)	12	10	8.2	6.3	8.5	8.5
全β	-	-	-	-	-	-
H-3(約12年)	-	-	-	-	-	-

単位: Bq/L

	K排水路			BC排水路		
	7月19日	7月20日	7月21日	7月19日	7月20日	7月21日
採取日	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00
採取時刻	3.5	13	4	3.5	13	4
降雨量(mm/日)	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中
流量(m ³ /秒)	1.5	1.6	4.8	ND(0.48)	ND(0.53)	ND(0.61)
Cs-134(約2年)	26	26	78	1.8	2.0	1.0
Cs-137(約30年)	42	34	110*	6.3	8.4	4.6
全β	-	-	-	-	-	-
H-3(約12年)	-	-	-	-	-	-

* 太枠内が今回公表データ。他は7月21日までにお知らせ済み。

* 測定対象外の項目は「-」と記す。

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

※ 降雨の影響により上昇したと考えられる。

4/6

2019年7月22日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 海水

単位: Bq/L

採取日	福島第一 56号機 放水口北側 (T-1)	福島第一 6号機 取水口前	福島第一 物揚場前	福島第一 1~4号機 取水口内北側 (東側陸域北側)	福島第一 1~4号機 取水口内南側 (遮水壁前)	福島第一 南放水口 付近 (T-2)	福島第一 港湾口	福島第一 港湾内 東側	※ 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
採取日	7月21日	7月21日	7月21日	7月21日	7月21日	7月21日	7月21日	7月21日		
採取時刻	7:40	7:35	7:21	7:00	7:05	6:45	6:38	6:36		
Cs-134 (約2年)	ND(0.75)	ND(0.39)	ND(0.56)	0.60	1.7	ND(0.81)	ND(0.49)	ND(0.30)	60	10
Cs-137 (約30年)	ND(0.53)	ND(0.60)	ND(0.59)	6.0	19	ND(0.71)	ND(0.42)	ND(0.31)	90	10
全β	—	ND(16)	ND(16)	ND(16)	22	12	ND(15)	ND(15)		
H-3 (約12年)	—	—	—	—	—	—	—	—	60,000	10,000
Sr-90 (約29年)	—	—	—	—	—	—	—	—	30	10

単位: Bq/L

採取日	福島第一 港湾内 西側	福島第一 港湾内 北側	福島第一 港湾内 南側	福島第一 港湾中央	福島第一 北防波堤 北側 (T-0-1)	福島第一 港湾口 北東側 (T-0-1A)	福島第一 港湾口 東側 (T-0-2)	福島第一 港湾口 南東側 (T-0-3A)	福島第一 南防波堤 南側 (T-0-3)	※ 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
採取日	7月21日	7月21日	7月21日	7月21日	7月21日	7月21日	7月21日	7月21日	7月21日		
採取時刻	6:32	6:30	6:40	6:34							
Cs-134 (約2年)	ND(0.34)	ND(0.32)	ND(0.27)	ND(0.55)						60	10
Cs-137 (約30年)	ND(0.36)	ND(0.37)	ND(0.31)	1.0						90	10
全β	ND(15)	ND(15)	ND(15)	ND(15)							
H-3 (約12年)	—	—	—	—						60,000	10,000
Sr-90 (約29年)	—	—	—	—						30	10

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

* 測定対象外の項目は「-」と記す。

* 物揚場前は、シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。

※ 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度
(別表第1第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

5/6

6/6

2019年7月22日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水の分析結果

単位: Bq/L

一時貯水タンク J (サンプルタンク J)		運用目標	告示濃度 ※1 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
採取日	東京電力 2019年7月18日	第三者機関		
採取時刻	7:30	2019年7月18日		
貯水量 [m ³]	1,140	7:30		
セシウム134	ND(0.64)	1,140	60	10
セシウム137	ND(0.78)	ND(0.68)	90	10
その他 ガンマ核種	検出なし	検出なし		
全ベータ	ND(2.3)	ND(0.38)		
トリチウム	690	730	60,000	10,000

* 第三者機関: 東北緑化環境保全株式会社

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

(注) 運用目標の全ベータについては、10日に1回程度の分析では、検出限界値を 1 Bq/Lに下げて実施。

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度
(別表第1 第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

※2 セシウム134, セシウム137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

17:17受

1/1

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第19932報)

2019年7月22日17時10分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第19926報でお知らせしたとおり、サブドレン他水処理施設一時貯水タンクHに貯水していた水について、本日以下のとおり排水を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水開始 : 10時12分 ・排水終了 : 16時22分 ・排水量 : 920m³ <p>排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。</p> <p>【公表区分：E】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有・無

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。